

JEITA

スマートホームデータカタログ 作成の手引き

第 1.0 版

2020 年 10 月 20 日

一般社団法人 電子情報技術産業協会
スマートホーム部会

はじめに

近年、ビッグデータや、人工知能、ネットワークといった技術のめざましい進展により、あらゆるものがインターネットにつながる IoT (Internet of things:モノのインターネット)の時代が到来しています。しかし一方では、少子高齢化や災害対策など、様々な社会課題が数多く発生しており、その解決が求められています。

最先端テクノロジーを活用し、持続可能な経済成長と直面する社会課題解決の両立を目指すために、2016年1月に閣議決定された「第5次科学技術基本計画」において「Society5.0(超スマート社会)」が政府より発表されました。そして、Society5.0を実現するための基盤になると位置付けられているのが、2017年に経済産業省より提唱された「Connected Industries」であり、ここにおいては、日本の産業界が目指すべき姿のコンセプトを示しており、重点取り組み分野として、(1)自動走行・モビリティサービス、(2)ものづくり・ロボティクス、(3)バイオ・素材、(4)プラント・インフラ保安、(5)スマートライフの5つが挙げられています。

一般社団法人 電子情報技術産業協会 (JEITA) では、「Connected Industries」の重点5分野の1つであるスマートライフの実現に向け、住宅・住宅設備機器・家電・IT 通信機器・サービス等の住まいに関わるあらゆるモノを連携し、業界・業種の枠を超えた「スマートホーム部会」を設置し、宅内のデータ活用に向けた検討に着手いたしました。

機器や業界毎には、機器連携のためのフレームワークやプロトコルの整備が進んでいますが、業界を超えた連携 (Connected 化)を進めるにあたっての枠組みはできていない状況です。また、機器や業界毎にデータの用語の意味や連携方法も相違があり、これまで、サービス提供事業者が利用するに十分なデータ連携のための環境が整っている状況であるとは言い難いものでした。

JEITA スマートホーム部会では、今後の宅内データ連携を見据え、価値創出を行う上で重要なポイントとなりうる機器メーカー、サービス提供事業者が相互に理解できるデータカタログについて優先して検討して参りました。スマートホームの実現のためには、機器・住宅設備・サービス提供事業者が共通で理解できるデータカタログ構築が不可欠であり、データ流通市場創出のためにも統一されたデータ連携が必要であると考えているからに他なりません。

本「スマートホームデータカタログ作成の手引き」により、スマートホーム業界内外でのデータ連携が円滑化する一助となれば幸いです。

一般社団法人 電子情報技術産業協会
スマートホーム部会
スマートホームデータカタログ WG

スマートホームデータカタログ作成の手引き 目次

I	スマートホームデータカタログとは	1
1.	スマートホームとは	1
2.	スマートホームデータカタログ作成の意義	2
3.	スマートホームデータカタログ構成・構造について	5
4.	JEITA スマートホームデータカタログ独自項目について	6
II	スマートホームデータカタログ作成の手引き	7
1.	データカタログ本体部	10
	カタログ	10
	カタログレコード	22
	データセット部	26
	配信	47
2.	データセット詳細部	54
	観測活動	54
	センサ	59
	観測対象	63
	観測特性	67
3.	データセット利用条件部	72
	契約ポリシー	72
	利用条件	75
	データ保護要件	82
	利用期間	85
	価格・支払い	87
	保証	92
III	付録 JEITA スマートホームデータカタログ項目定義書V1.0	94

I スマートホームデータカタログとは

1. スマートホームとは

スマートホームとは、宅内外のあらゆる機器・住宅設備・サービス等が生活データを中心に連携することで、消費者ニーズに合ったサービスの高度化、社会課題の解決につなげられると期待されている新しい市場です

なぜ、スマートホームを JEITA が推進するのかと言うと、スマートホームが Society 5.0 を築くための基盤となるからです。持続可能な社会を構築するためには、生活者や住空間等の情報を取扱うシステムと住まい手、住まいのモノ・サービス提供者を含む全ての参加者が効率よく連携する必要がありますと考えています。互いに支え合いながら限られた資源を最大限活かすことができれば、社会の幸せ、住まい手の幸せを実現することができます。そして、住まい手は、スマートホームがもたらす様々な選択肢と、自らの意思で、望む暮らしを実現でき、限られた社会リソース(資源・労働力)を最適活用することができます。

【家庭の急速な変化への対応に必要なスマートホーム】

家庭の変化

【平均世帯人員】



※国民生活基礎調査の概況より

【共働き等世帯数】



= 家庭や近隣住民、地域コミュニティによる互助・サポートが希薄になる中、公的・私的なサービスとしての支援（育児・見守り等）を、家をスマート化することで実現する。

【スマートホームがもたらす新たな価値】

製品・技術の高度化による社会サービスの深化

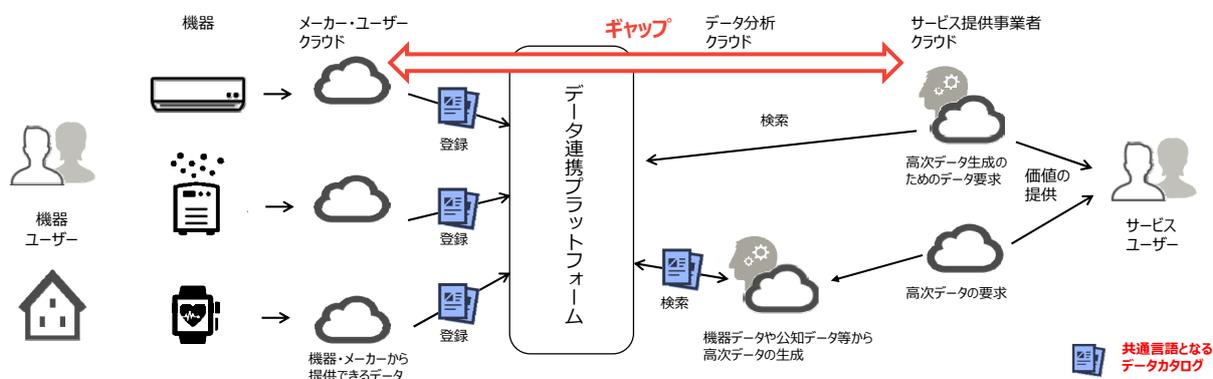
	これまで	スマートホーム
家電製品等	単機能・非NW スマートノオン	高機能/AI化・NW化 センサー・ウェアラブル
技術インフラ	高速処理 有線での限定的な接続 (IT技術)	リアルタイム処理 無線での多様な機器への接続 (IoT技術)
社会サービス (電気・ガス・水道・電話・ 警察・消防・ごみ収集等)	リソース(資源・労働力) を最大活用 = 個別最適社会	リソース(資源・労働力) を最適活用 = 全体最適社会 (Society 5.0)

= 家電製品等の機器の進化は様々な生活情報の収集を可能にし、技術インフラの発展は、生活情報と多様なサービスとのつながりを可能にする。その結果、住まいにおける新たな選択肢(社会サービス)が生まれ、社会課題の解決と住まい手の幸せの両方を実現する。

2. スマートホームデータカタログ作成の意義

2.1 スマートホームを推進する上での課題と対策

生活データを活用したスマートホーム関連市場には、①サービス提供事業者(データ活用)、②データ連携プラットフォーム(データ収集・連携)、③機器メーカー(データ提供)といった幅広いプレイヤーが参入することが期待されています。しかし、現状では、サービス提供事業者が欲しいデータと、機器メーカー側が提供可能なデータにギャップが存在することや、データに関する用語の意味、データ連携方法等の捉え方が業界・企業毎に相違しており、市場創出の一つの阻害要因になっていると考えられています。



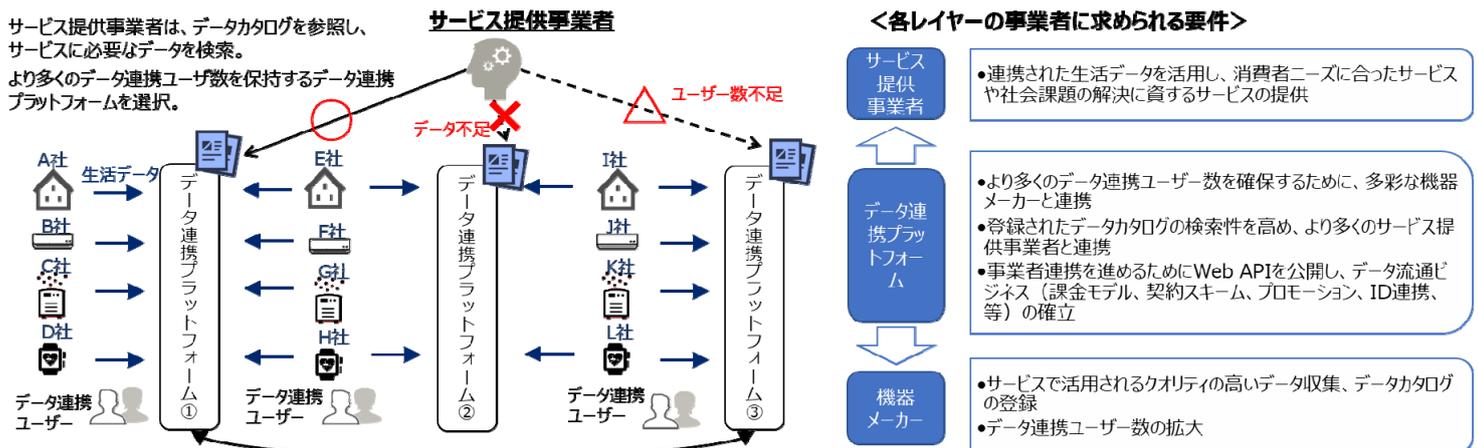
したがって、スマートホーム市場構築のための適正な環境整備をしていくために、あらゆるスマートホーム市場参入事業者が共通で理解できるデータカタログの考え方を構築し、データ流通市場創出に向けて統一されたデータ連携の在り方を示していく必要があります。

2.2 データカタログを整備することのメリット

当該データカタログが整備されることで、各事業者間の情報ギャップ、データ用語、データ連携方法等が明確化され、生活データの連携が実現し、新たなデータ流通市場創出が可能になると見込まれます。

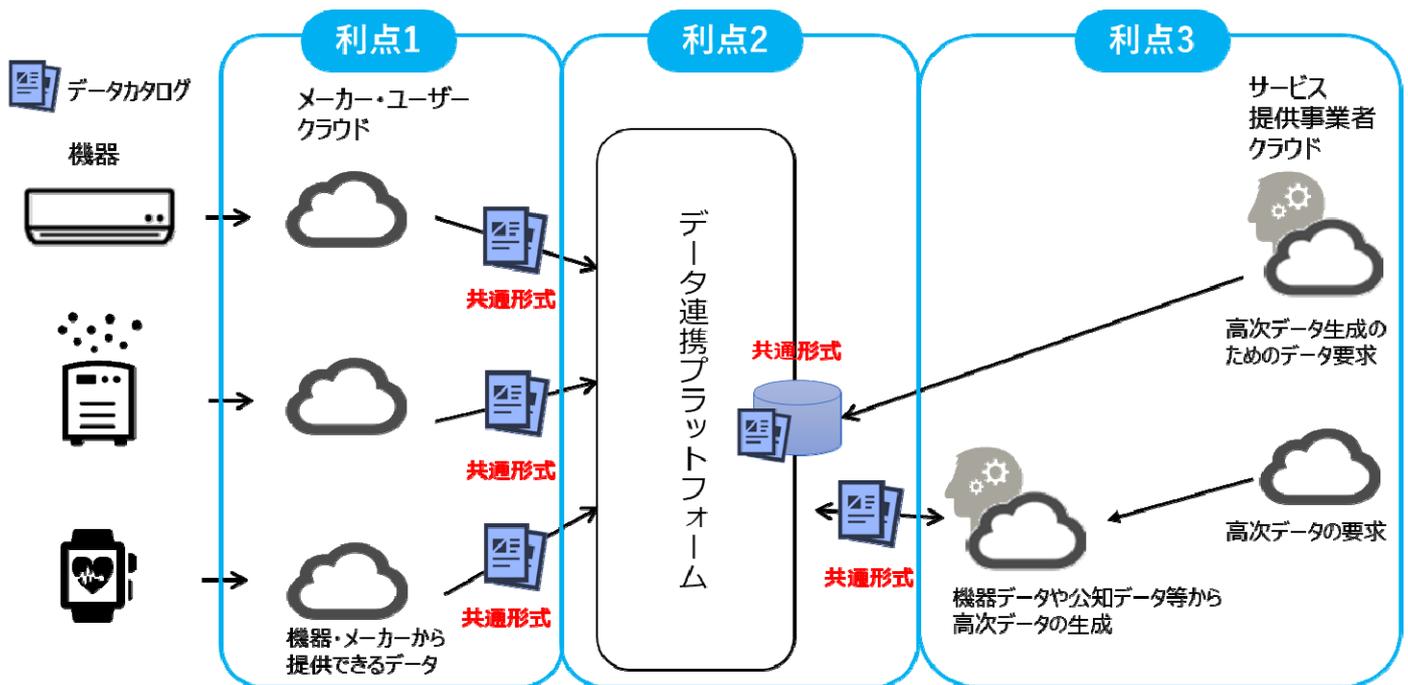
サービス提供事業者は、データ連携ユーザー数がサービス導入を検討する際の重要な判断軸となり、他方で、データを提供する機器メーカーは多数存在し、世帯の数だけ機器メーカーの組合せが存在することになり、サービス提供事業者が個別メーカーと契約をしてサービスインを進めるには限界が生じています。

そこで、複数の機器メーカーと生活データを連携させる役割が必要であり、データ連携プラットフォーム(データ収集・連携)を担うプレイヤーが求められています。サービス提供事業者はより多くのデータ連携ユーザー数を保持し、かつサービスへの活用が見込まれるデータを収集するデータ連携プラットフォームを選択することで、より多くのユーザーに対してサービス提供することができ、更には社会課題の解決につながることを期待されています。



2.3 スマートホームデータカタログの意義

「スマートホームデータカタログ」を整備することで、サービス提供事業者は適切な方法で住宅・住宅設備・機器側にデータを要求することができ、機器メーカー側も機器データ等をサービス提供事業者適切に提供が可能になります。その結果、スマートホーム分野におけるデータ連携の促進が期待されます。具体的には以下の利点を享受することが可能になります。



利点 1: メーカー側が、機器データ等をサービス提供事業者に提供するとき、共通項目でデータカタログを登録でき、個々にデータの意味を定義する手間が省け、多くのサービス提供事業者へデータの存在をアピールすることができる。

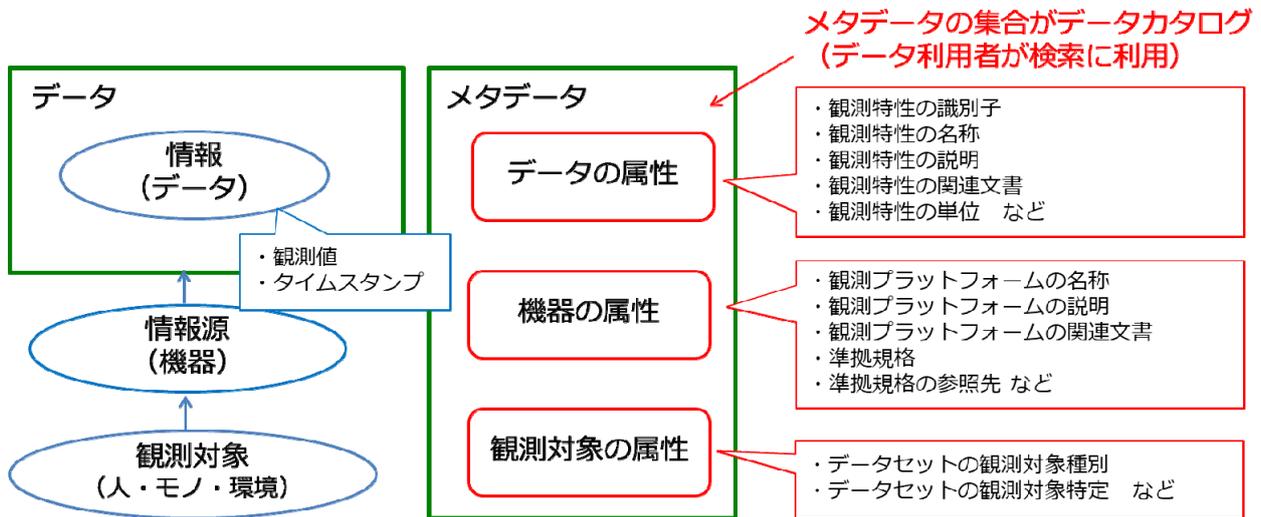
利点 2: メーカー側とサービス提供事業者を仲介するデータ連携プラットフォーム事業者が、項目整備のコストを削減できる。

利点 3: サービス提供事業者側が、データカタログに基づき、必要なデータを簡易に検索し、要求できる。

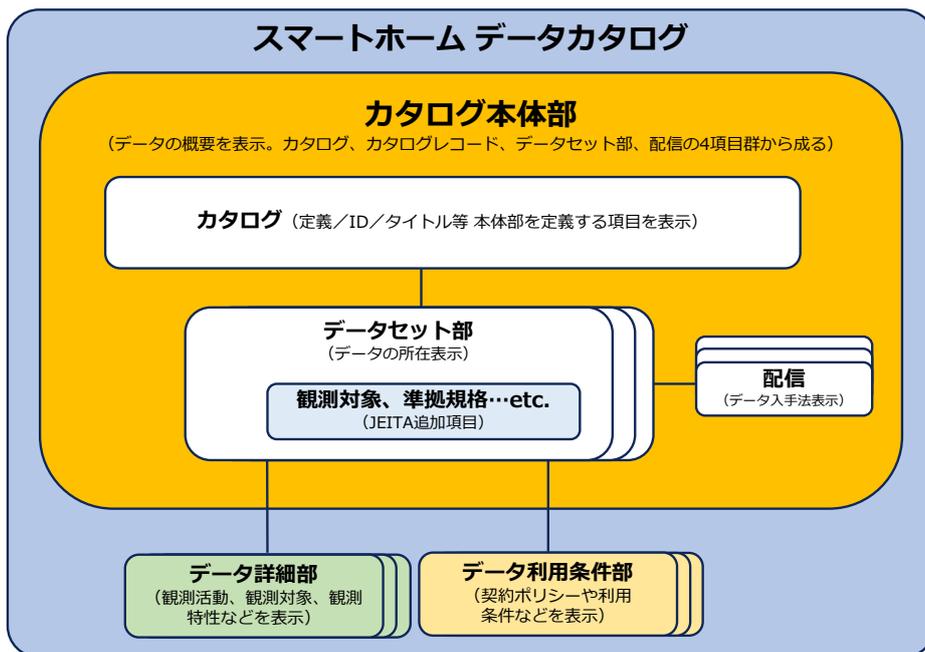
3. スマートホームデータカタログ構成・構造について

「データカタログ」とは、データそのものを一覧にしたものではなく、データの分類、略形式等を「検索するためのメタ(属性)データ」をデータの種類毎にまとめたものと定義しています。

「スマートホームデータカタログ」はサービス提供事業者が関心のある対象(人・家・地域など)において、利用可能なデータ一覧とそのデータ属性を確認するために利用されることを想定します。



JEITA スマートホームデータカタログを作成するにあたっては、2019年1月に一般社団法人データ流通推進協議会が発行した「データカタログ作成ガイドライン V1.1(中間とりまとめ)」に基づき、スマートホームとして必要なデータカタログ項目について議論し、項目定義一覧を取りまとめ、「JEITA スマートホームデータカタログ項目定義書」として発行を致しました。JEITA スマートホームデータカタログは、カタログ、カタログレコード、データセット部の項目群から成る「データカタログ本体部」に、関連情報をデータセット部に加えた構造としています。



※1 データセットは実際に提供されるデータのことを指します。

※2 カatalogレコード、データ詳細部については、JEITA スマートホームデータカタログサイトの記載項目から除外しています。

4. JEITA スマートホームデータカタログ独自項目について

JEITA スマートホームデータカタログ項目の選定にあたっては、データカタログ作成ガイドラインが参照している国際規格(W3C DCAT)に基づき、国際規格との整合性を残しながら、「ECHONET Lite」や「Continua Design Guidelines」といった既存規格との親和性を示す項目を追加することで、データカタログの閲覧者が提供されるデータの概要を知るだけでなく、データの基となる機器情報を詳細に知る手段を備えたものとなるように配慮しています。JEITA スマートホームデータカタログにおいては、以下の項目を独自項目として採用しています。

1. データセットの観測対象種別について

宅内におけるデータ活用の観点においては、データと人・モノ・環境の紐づけの仕組み作りが必要であり、データの利用価値を高める意味でも新規に項目追加を行っています。

・データセットの観測対象種別

観測対象が人かモノか空間かの種類を記載

・データセットの観測対象特定

観測対象の特定の有無

例) 人・モノ・空間を識別可能な ID 等がデータに含まれているか否か

2. 観測プラットフォームの記載について

データカタログ本体部だけでもスマートホームデータの内容を把握できるようデータカタログ作成ガイドライン詳細部の記載内容を本体部の項目に記載を行っています。

・観測プラットフォームの名称

データ取得機能が搭載された機器の名称(例:エアコン)

・観測プラットフォームの説明

データ取得機能が搭載された機器に関する概要

・観測プラットフォームの関連文書

データ取得機能が搭載された機器の説明書や仕様書等

3. 準拠規格について

宅内には様々な機器が存在しており、業界毎に、機器連携のためのフレームワークやプロトコルの整備が進んでいるところであり、当該国際規格等も有効に活用するため項目追加しています。

・準拠規格

準拠している既存の標準化規格等を記載

例)「ECHONET Lite」や「Continua Design Guidelines」等

・準拠規格の参照先

準拠している既存の標準化規格の参照先を記載

Ⅱ スマートホームデータカタログ作成の手引き

本章では、「JEITA スマートホームデータカタログ項目定義書V1.0」に基づき、具体的な JEITA スマートホームデータカタログサイトでのデータカタログ項目の記載方法・記載例について解説をしていきます。

なお、スマートホームデータカタログ作成にあたっては以下の点にご留意下さい。

注意 1: JEITA スマートホームデータカタログサイトは、日本語／英語言語でのカタログ登録に対応していますが、1 カタログ 1 言語としています。

したがって、日本語・英語のカタログを両方作成する場合には、日本語版／英語版の 2 カタログを作成する必要があります。

注意 2: JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいては、オプション項目の入力はカタログ作成者の任意となり、記載がない場合にはデータカタログサイト上、当該項目は表示がされません。

注意 3: データ詳細部は、項目定義書中には規定をしておりますが、JEITA スマートホームデータカタログサイト上の入力は不要な項目です。

JEITA スマートホームデータカタログ項目定義書V1.0 項目一覧

①データカタログ本体部		①データカタログ本体部		①データカタログ本体部	
カタログ		データセット部		配信	
1	カタログID	17	データセットのタイトル	38	データセットの配信形式の名称
2	カタログのタイトル	18	データセットの説明	39	配信形式の説明
3	カタログの説明	19	データセットの発行日	40	配信開始日
4	カタログの発行日	20	データセットの更新/修正日	41	配信形式の最終変更日
5	カタログの最終更新日	21	データセットに含まれる言語	42	データセット配信を受けるためのライセンス
6	カタログ作成に用いた言語	22	データセットの提供者	43	データセット配信の利用規約
7	カタログ記載のホームページ	23	データセットの作成者	44	データセットを配信するアクセスURL
8	カタログの提供者	24	データセットの提供頻度		
9	カタログの対象地域	25	データセットのURI		
10	カタログの分類テーマ	26	データセットの対象地域		
11	カタログのライセンス	27	データセットの対象期間		
12	カタログの利用規約	28	データセットの分類テーマ		
カタログレコード		29	データセットのキーワード		
13	カタログレコードの名称	30	データセットの窓口		
14	カタログレコードの説明	31	データセットの説明ページURL		
15	カタログレコードの作成日	32	データセットの観測対象種別		
16	カタログレコードの更新/修正日	33	データセットの観測対象特定		
		34	観測プラットフォームの名称		
		35	観測プラットフォームの説明		
		36	観測プラットフォームの関連文書		
		37	準拠規格/参照先		

②データセット詳細部		③データセット利用条件部	
観測活動		契約ポリシー	
45	観測活動の名称	63	契約形態
46	観測活動の説明	64	秘密保持義務
47	観測活動の関連文書	65	利用用途
48	観測活動の期間	利用条件	
49	観測活動の場所	66	利用状況の把握
センサ		67	利用範囲
50	センサの識別子	68	第三者への開示要件
51	センサの名称	69	データ購入者の制限
52	センサの説明	70	データ活用地域
53	センサの関連文書	71	注意事項
54	観測対象の識別子	72	派生データの利用権
観測対象		データ保護要件	
55	観測対象の名称	73	パーソナルデータの類別
56	観測対象の説明	74	データ利用者に求める資格
57	観測対象の関連文書	75	データの管理
観測特性		利用期間	
58	観測特性の識別子	76	データの有効期間
59	観測特性の名称	77	利用ライセンスの期限
60	観測特性の説明	価格・支払い	
61	観測特性の関連文書	78	支払類型
62	観測特性の単位	79	課金単位
		80	価格帯
		81	データ販売に関わる特記事項
		82	支払条件
		保証	
		83	保証
		84	準拠法の対象国

スマートホームデータカタログの記載例を下記に示す。

記載例)

項目No. ○○

←JEITA スマートホームデータカタログ項目番号を示す。

大構造 ○○

←JEITA スマートホームデータカタログの①カタログ本体部、②データセット詳細部、③データセット利用条件部及び項目を記載している。

見出し

←JEITA スマートホームデータカタログ項目のタイトルを記載。

説明

<説明>
このカタログをユニークに識別するための管理 ID です。

←JEITA スマートホームデータカタログ項目内容の説明を記載。

区分 必須項目 ・ オプション項目

←① 必須項目 (カタログへの記載が必須)
② オプション項目 (項目として残すが、記入は任意) から選択

解説

←スマートホームデータカタログ項目の考え方について解説します。

入力ルール

←スマートホームデータカタログサイトでの入力ルールを記載します。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

←スマートホームデータカタログサイトでの記入方法を選択します。
自由記述: データカタログ作成者が自由に記述
選択記述: データカタログ作成者が項目を選択する

入力例

←スマートホームデータカタログサイトでの入力例を記載します。

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

←スマートホームデータカタログサイト管理者側で記載をどうか明示します。カタログサイトにて対応実施の場合、データカタログ作成者は項目を記載する必要はなく、当該項目は自動的に記入されます。

1. データカタログ本体部

項目No. 1

大構造 ①データカタログ本体部 カタログ

見出し カタログ ID

説明

このカタログをユニークに識別するための管理 ID です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データカタログを一意に特定するためのものです。JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいては、サイト側にて自動的にカタログ ID を付与しますので、データカタログ登録者が入力する必要はありません。なお、データカタログが削除された際、当該データカタログに付与されていたカタログ ID は欠番となり、再使用されることはありません。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 2

大構造 ①データカタログ本体部 カタログ

見出し カatalogのタイトル

説明

このカタログの名称です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

スマートホームデータカタログ内には複数のデータセット部が格納されることが想定されます。本項目では複数のデータセット部を総括的に言い表すカタログタイトルを記載して下さい。

入力ルール

登録しようとしているデータをひと言(50字程度)で言い表すタイトルを記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

- ・健康データマーケットカタログ
- ・エアコン稼働状況データカタログ

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 3

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalogの説明

説明

このカタログの内容の説明です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

スマートホームデータカタログ内には複数のデータセット部が格納されることが想定されます。本項目は格納されている複数のデータセット部の総括的な説明を記載して下さい。

入力ルール

このカタログに、収録されているデータセットの内容を踏まえて、データの特徴を第三者に理解してもらうための説明を記入して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・インターネット経由で取得する健康測定データ(血圧／体重／骨密度)を年代別のデータとしてまとめたもの
- ・オフィスビルにおいて IoT 接続されたエアコン稼働状況及び管理制御データをリアルタイムで配信するもの

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 4

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalogの発行日

説明

このカタログを発行した日付です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データの配信開始日ではなく、このカタログ自体の発行日です。JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいては、データカタログの登録時に自動的に本項目の日付を設定します。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 5

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalogの最終更新日

説明

このカタログを最後に更新・修正した日付です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

本データカタログ内の各項目のいずれかが更新された場合、JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいて、自動的に更新日を設定します。なお、システム上での対応となるため、軽微な修正(誤字修正等)であっても更新扱いとなります。

入力ルール

—

入力形式 ~~自由記述~~ ・ ~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 6

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カタログ作成に用いた言語

説明

このカタログがどの言語で記述されているかを示す情報です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

本データカタログを記述している言語を言語コードで表現します。ISO 639-1 がベースになります。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトの対応言語は、日本語／英語のデータカタログとなりますので、「日本語」／「英語」のどちらかを選択して下さい。なお、カタログ上の表記は選択に合わせ、ISO 639-1 ベースの言語コードである「ja」／「en」へ自動的に変換されます。

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・ja

・en

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目 No. 7

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalog記載のホームページ

説明

このカタログのホームページの URL です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ自体が格納されている URL ではなく、本データカタログが閲覧できる WEB ページの URL が記載される項目となります。なお、JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいては、登録時に自動的に URL を付与し、本項目に反映します。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 8

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalogの提供者

説明

このカタログを提供する組織・機関の名称です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセットの提供者については、別項目(No.30 データセットの窓口)がありますので、本項目では本カタログ自体の提供者を記載して下さい。担当部署を記載するかについての規定はありませんが、利用者からの問合せを受ける可能性を考慮し、運用上で問題が生じない範囲まで記載することを推奨します。

入力ルール

このカタログを提供する組織・機関の名称を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

〇〇株式会社 データサービス事業部

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 9

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し **カタログの対象地域**

説明

このカタログの対象地域です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセットの対象地域(データ取得している地域)については、別項目(No.26 データセットの対象地域)がありますので、本項目は、本データカタログに記載されている各項目を保証の上、データを提供できる対象地域(カタログの有効範囲)を意味します。なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトは対象地域を「日本国内」と固定にて設定します。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 選択記述

入力例

日本国内

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 10

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し カatalogの分類テーマ

説明

このカタログが扱うテーマです。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データカタログが対象とするテーマを示す項目です。本データカタログが属すると考えられる概念を記載します。なお、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、分類テーマを「スマートホーム」と固定で設定します。

入力ルール

—

入力形式 ~~自由記述~~ ・ ~~選択記述~~

入力例

スマートホーム

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 11

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し **カタログのライセンス**

説明

このカタログに適用されるライセンスへのリンクです(このカタログに含まれるデータセットに適用されるライセンスではありません)。

このカタログに適用されるライセンスが、このカタログに含まれるデータセットや配信に適用される場合においても、データセットや配信ごとのライセンス項目で記載する必要があります。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセット自体ではなく、項目 No.12データカタログ利用規約を遵守の上で、一つの著作物であるデータカタログ自体に適用されるライセンスを示す項目となります。JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データカタログを登録する際には、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CC ライセンス)の表示-改変禁止のライセンス(※)設定を条件としており、本 CC ライセンスが自動的に設定されます。

※原作者のクレジット(氏名、作品タイトルなど)を表示し、かつ、元の作品を改変しないことを主な条件に、営利目的での利用(転載、コピー、共有)が行える CC ライセンス。

入力ルール

—

入力形式 **自由記述** **選択記述**

入力例

表示 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-ND 4.0)

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 12

大構造 ①データカタログ本体部 **カタログ**

見出し **カタログの利用規約**

説明

このカタログの利用規約です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセット自体ではなく、一つの著作物であるデータカタログ自体に適用される利用規約を規定する項目となります。本項目は、項目 No.11で定めたライセンスを付与するための前提条件となります。なお、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、統一の利用規約を定めているため、本項目は自動的に利用規約を記載した HP のアドレスが記載されます。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 13

大構造 ①データカタログ本体部 カタログレコード

見出し カatalogレコードの名称

説明

このカタログのレコードの名称です。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

スマートホームデータカタログにデータセット部を登録した場合、登録日付等をレコードとしてまとめることができます。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、カタログレコードの記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 14

大構造 ①データカタログ本体部 カタログレコード

見出し カatalogレコードの説明

説明

このレコードの内容の説明です。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

項目 No.13カタログレコードの名称に記載できない、補足事項を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 15

大構造 ①データカタログ本体部 カタログレコード

見出し カatalogレコードの作成日

説明

このレコードを作成した日付です。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

カタログレコードを作成した日付を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 16

大構造 ①データカタログ本体部 カタログレコード

見出し カatalogレコードの更新/修正日

説明

このレコードを更新・修正した日付です。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

カタログレコードの記載事項を更新・修正した日付を記載しますが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 17

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットのタイトル

説明

データセットの名称です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

スマートホームデータカタログの配下には、複数のデータセット部を登録できます。本項目は、個々のデータセットについての説明を記載するものです。

なお、「データセット」は実際に提供される“データそのもの”のことを指し、「データセット部」は当該データセットの“メタデータ”を指します。

入力ルール

登録しようとしているデータセットをひと言(50文字程度)で言い表すタイトルを記載して下さい。例えば、「〇月〇日の血圧測定情報」といった時系列でデータセットを纏めることや、「〇〇地域のエアコン稼働状況」といった形で地域毎にデータセットを纏めることも可能です。検索の結果に反映されるため、なるべく簡潔に表現をすることが重要です。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・ ABC_血圧測定_20180401
- ・ 2017年度エアコンのセンサ出力信号

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 18

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの説明

説明

このデータセットの内容の説明です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセット内容を説明する項目です。データ利用者によるデータ活用を促すために、分かりやすく当該データセットの説明を行う必要があります。

入力ルール

タイトルだけでは表せない、データセットの特徴を第三者に理解してもらうための説明を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・ある特定地域の 40 歳代から 70 歳代を含むグループで、毎日朝晩に血圧計を使って測定したデータを一月単位にまとめて配信。
- ・日本国内の各地方毎にエアコンから 10 分毎に収集した動作状態、運転モード設定、温度設定値、室内相対湿度計測値、室内温度計測値、外気温度計測値、風量設定のデータリストを提供する。

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 19

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの発行日

説明

このデータセットの発行日です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセットの発行日を記載します。

入力ルール

このデータセットが発行された日を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・2019/04/01

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 20

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの更新／修正日

説明

このデータセットを最後に更新・修正した日付です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットの修正・更新日を記載します。軽微な変更や訂正であっても適切に修正し、スマートホームデータカタログサイトに登録をする必要があります。

入力ルール

このデータセットを修正、更新した場合は、その日付を記載してください。ここでいう修正、更新とは、データセット内の軽微な変更や誤りの訂正などを指します。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

・2019/04/02

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 21

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットに含まれる言語

説明

実際に取得できるデータセットがどの言語で記述されているかを示す情報です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データカタログの基となって提供されるデータ(データセット)がどの言語で記述されているかを示す情報です。言語コードで表現します。ISO 639-1 がベースになります。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトが対応するのは、日本語／英語のデータカタログとなりますので、「日本語」／「英語」のどちらかを選択して下さい。なお、カタログ上の表記は選択に合わせ、ISO 639-1 ベースの言語コードである「ja」／「en」へ自動的に変換されます。

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

- ・ja
- ・en

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 22

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの提供者

説明

このデータセットを提供した組織・機関の名称です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

本データセットをデータ利用者に提供する主体を記載します。データセット提供者とデータセット作成者が異なる場合も想定されるため、データセット提供者とデータセット作成者の二つの項目を設定しています。

入力ルール

このデータセットを提供した組織・機関の名称を記載して下さい。
データセットへの問合せ先は項目 No.30 データセットの窓口に記載します。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・〇〇株式会社 データサービス事業部

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 23

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの作成者

説明

このデータセットの作成に関わった組織・機関の名称です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットを作成し、データセット提供事業者に対して当該データセットを提供した主体を記載します。

入力ルール

このデータセットの作成に関わった組織・機関名を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

・〇〇株式会社 データサービス事業部

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 24

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの提供頻度

説明

データセット部内のデータセットが提供される頻度です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

スマートホームデータの価値を高めるためには、データの質の確保が重要であり、本項目では、データセット部内のデータセットの提供頻度について記載します。データセットの性質によっては、頻繁に更新・提供されているデータに価値がある場合があり、データを流通させるにあたって本項目は有用な情報になります。なお、API でデータセットを随時提供する場合には、API で随時提供の旨を記載して下さい。

入力ルール

データセット部内のデータセットが提供されるペースを記載して下さい。定期的に提供する場合、年・月・週・日あたり何回なのかを記載してください。常に更新されるデータセットであれば、時間・分・秒・マイクロ秒あたり何回のデータ配信が行われるかを記載して下さい。不定期の場合は、不定期として下さい。また、API でデータセットを随時提供する場合には、API で随時提供と記載してください。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・月に一度更新データセットを提供
- ・リアルタイム or 1秒あたり1回更新
- ・API で随時提供

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 25

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの URI

説明

このデータセット部をユニークにするための識別子です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者が利用者側にデータ利用を促し、提供するデータセットを一義に示すために、識別子を記載します。識別子は基本的には自由な形式ですが、組織 URL に UUID を発行する等の携帯が想定されます。なお、JEITA スマートホームデータカタログサイトにおいては、URI としてカタログ登録時に自動的に URL を付与し、本項目に反映します。

入力ルール

-

入力形式 自由記述 ~~・ 選択記述~~

入力例

-

カタログサイトにて対応 **実施** ・ 未実施

項目No. 26

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの対象地域

説明

このデータセットの対象地域です。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

データセットが対象としている地域を記載します。例えば、エアコン稼働状況であった場合、日本国内・都道府県・市町村単位で細分化できる範囲まで記載します。

入力ルール

このデータセットの対象地域を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・日本国内
- ・日本国内 ○○県 ○○市

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 27

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの対象期間

説明

このデータセット部内に収録されているデータセットが対象とする期間です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセット測定を開始した年月日、並びにデータセット測定を終了した年月日を記載します。データセットを継続的に測定する場合には、終了年月日を書く必要はありません。また、複数のデータセットが登録されている場合、最も測定データが古いデータセットの期間を記載します。データ利用者側がいつの時点のデータセットかを理解するために役立つ情報となります。

入力ルール

このデータセット部内に収録されているデータセットは、いつからいつまでの情報かを年月日で記載して下さい。未来に渡って継続してデータを収集・配信する場合、終了年月日は省略することができます。

入力形式 開始年月日-終了年月日 : YYYY/MM/DD-YYYY/MM/DD

入力形式 開始年月日 YYYY/MM/DD

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・2019/04/01-2019/05/30

・2019/04/01-

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 28

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットの分類テーマ

説明

このデータセットの扱うテーマです。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データセットが対象とするテーマを示す項目です。タイトルとは異なり、データセットが属すると考えられる最も近いテーマを記載します。

入力ルール

このデータセットがどのようなデータを扱うか、最も近いと想定されるデータセットのテーマを以下から選択して下さい。

エネルギーマネジメント／快適生活支援／モバイルサービス／機器メンテナンス
セキュリティ／ヘルスケア／IoT 家電／創エネ・畜エネ／住宅設備

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

- ・エネルギーマネジメント
- ・快適生活支援

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 29

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し データセットのキーワード

説明

このデータセットのキーワードです。検索のためのタグとしても用いられます。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

本項目は、データ利用者が必要なデータセットを見つけやすく、また、適切にデータセットを提供できるように、データ検索向けタグやデータセットに付随するデータ(変数)の情報等を記載する項目です。データセットを様々な観点から記述していくことが要求されます。

入力ルール

このデータセットに関連するキーワードを記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・血圧測定、最高血圧、最低血圧、脈拍
- ・40代、50代、60代、70代
- ・運転モード設定／温度設定値／室内相対湿度計測値／室内温度計測値
／外気温度計測値／風量設定等、分類テーマに基づいたデータセット部内のデータセットの属性等を記載します。

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 30

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの窓口

説明

このデータセットについて、問合せを行う際の連絡先です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットの記載内容に関する問合せ窓口を記載します。データカタログそのものや購入等に関する窓口ではありません。本データセットに関する問合せ先(名称、メールアドレス、TEL等)を記載して下さい。但し、担当者名など、具体的な個人情報が分からないよう記入の際にはご注意ください。

入力ルール

データセットの連絡先情報を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

〇〇株式会社

データサービス事業部 カスタマサポート部

12-3456-7890

××××××@××.××

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 31

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの説明ページ URL

説明

このデータセットに関する説明ページの URL です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

項目 No.18データセットの説明では記載できていない項目等について、追加の情報等があれば記載することが可能です。例えば、データセットに関するランディングページや個社の宣伝 HP 等も追記することが可能です。

入力ルール

このデータセットに関して、追加・補足できる情報が公開されている場合は、そのページのリンク名、URL を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

・スマートホームデータカタログ説明ページ

<https://www.jeita.or.jp/japanese/pickup/category/190314.html>

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 32

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの観測対象種別

説明

データセットの観測対象が人かモノか空間かの区別を記載する項目です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

スマートホーム内におけるデータ活用の観点においては、宅内のデータと人・モノ・空間の紐づけがサービス創出にあたって価値を持ちます。スマートホームにおけるデータの利用価値を高めるために、JEITAにて独自に追加を行った項目となります。

人: バイタルデータ等

モノ: 家電等の操作履歴、機器の稼働状況等

空間: 部屋の状況等

入力ルール

観測対象が人かモノか空間かの種類を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

・人／モノ／空間

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 33

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し データセットの観測対象特定

説明

観測対象の特定の有無を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

項目 No.32データセットの観測対象種別にて、宅内のデータと人・モノ・空間の紐づけが、人であれば個人単位、モノであれば機器単位、空間であれば部屋単位等、識別可能なID・データ連携の仕組みがあるかどうかを記載します。

入力ルール

人・モノ・空間を識別可能な ID・URI等がデータセット中に含まれているかどうかを記述します。無い場合には「無し」と記載して下さい。記載にあたっては、個人等が特定可能な具体的な ID/番号等を記入しないようにご留意下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

・一意に識別可能な番号(例えば、マイナンバー)が含まれる。
※具体的な ID/番号等を記入しないようにご留意下さい。

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 34

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し 観測プラットフォームの名称

説明

観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)の名称を簡潔に記載して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットを観測している、主に機器に関する情報を記載する項目です。

入力ルール

データセットを観測している、主に機器に関する情報について、ECHONET 機器オブジェクトにて規定されている機器項目から選択、又は、自由形式のテキストで記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

- ・電子レンジ
- ・家庭用エアコン

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 35

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し 観測プラットフォームの説明

説明

観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)の仕様や意味について、理解しやすい表現で説明して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットを観測している主に機器に関する仕様等を記載する項目です。

入力ルール

自由形式のテキストで記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

家庭用エアコン) 本エアコンには、温度センサ、湿度センサ、人感センサ等が搭載されている。部屋内の温度・湿度を観測するとともに、人感センサにより、部屋内の在不在情報も観測することができる。

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 36

大構造 ①データカタログ本体部 データセット部

見出し 観測プラットフォームの関連文書

説明

観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)に関連する文書について、文書名称と Web 空間上の場所を示す URL を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットを観測している主に機器に関するカタログ等の関連文書を記載する項目です。

入力ルール

テキスト記述の文書名と文書の URL 等を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

家庭用エアコン ○○シリーズ製品カタログ, <https://www.○○○.co.jp/aircon/>

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 37

大構造 ①データカタログ本体部 **データセット部**

見出し 準拠規格・参照先

説明

観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)やデータセットが準拠している標準化規格等を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

スマートホーム内には様々な機器が存在しており、業界毎に、機器連携のためのフレームワークやプロトコルの整備が進んでいるところであり、当該国際規格等も有効に活用するため、スマートホームデータカタログ項目に追加をしています。既存の国際規格等に対応をしていることを示すことにより、よりデータ連携をやすくすることを目指しています。

入カルール

観測プラットフォームが準拠している標準化規格等の名称・参照先を記載して下さい。

例:「ECHONET Lite」や「Continua Design Guidelines」等

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・ECHONET Lite,<https://echonet.jp/>

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 38

大構造 ①データカタログ本体部 **配信**

見出し データセットの配信形式の名称

説明

データセットの配信形式の名称です。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

入力ルール・解説

データセットの配信形式を説明するために、配信方法やファイル名等を名称として記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・月次エアコン測定情報 JSON ファイル配信

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 39

大構造 ①データカタログ本体部 **配信**

見出し 配信形式の説明

説明

データセットの配信形式に関わる説明です。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

ファイルの配信方法(ダウンロード型、WEB APIにてデータ提供先サーバより取得する等)及びファイルの形式(CSV、JSON 等)を記載するとともに、「配信」部の記載にない項目(配信のタイミング等)で記載すべきものがある際は本項目に記載して下さい。

入力ルール

データセットの配信形式を第三者に理解してもらうための説明を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・1週間単位の情報を翌週まとめてJSON形式で配信
- ・データを即時にプッシュ配信(フォーマットテンプレートは下記参照)

https://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/distribution/archives/format_template

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 40

大構造 ①データカタログ本体部 配信

見出し 配信開始日

説明

この配信形式でデータセットの提供を始めた日付です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

項目 No.39配信形式の説明で記載している内容にて、データセットの提供を始めた日付を記載して下さい。

入力ルール

この配信形式でデータセットの提供を始めた日付を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

2019/04/01

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 41

大構造 ①データカタログ本体部 配信

見出し 配信形式の最終変更日

説明

この配信を最後に更新した日付です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

配信部(項目 No.38～No.44)が変更された際に自動的に本項目が変更となります。なお、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、該当記載項目に更新があった際はシステムにて自動的に更新日付を付与しますので、カタログ登録者が入力する必要はありません。

入力ルール

—

入力形式 自由記述 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 42

大構造 ①データカタログ本体部 配信

見出し データセット配信を受けるためのライセンス

説明

このデータセットの配信を受けるために従うべき利用条件です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

項目 No.43データセット配信の利用規約を遵守の上で、他者に与えられる権利を規定する項目となります。このデータを購入した事業者が、どの範囲で本データを利用できるのかを記載して下さい。No.43データセット配信の利用規約と同一の文章内で示される場合もありますが、それを妨げるものではありませんので、その際は同一文章を双方に記載して下さい。

入力ルール

このデータセットの利用条件や、利用条件が記されたライセンスドキュメントのリンク名、URL を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

データライセンス規程

<http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataLicence/>

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 43

大構造 ①データカタログ本体部 配信

見出し データセット配信の利用規約

説明

このデータセットの利用規約です。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

本項目は、項目 No.42で定めたライセンスを付与するための前提条件となります。No.42データセット配信を受けるためのライセンスと同一の文章内で示される場合もありますが、それを妨げるものではありませんので、その際は同一文章を双方に記載して下さい。

入力ルール

このデータセット配信を受けるための利用規約を定めたリンク名、URL を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

データ利用規約

<http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataTermsAndConditions/>

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 44

大構造 ①データカタログ本体部 配信

見出し データセットを配信するアクセス URL

説明

データセットを取得できる Web ページの URL です。例えば、データセット配信に対してアクセス権を与えるランディングページや、フィード、SPARQL エンドポイント等を記します。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データセットを取得できる WEB ページには、購入者専用サイトや取得する方法等が記載された HP を想定しています。

入力ルール

そのデータセットを取得できる Web ページのリンク名、URL を記載して下さい。

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

〇〇社 データカタログサイト

<http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataTermsAndConditions/>

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

2. データセット詳細部

項目No. 45

大構造 ②データセット詳細部 **観測活動**

見出し 観測活動の名称

説明

観測活動の名称を、文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測活動の対象(観測対象物と目的とするデータ)が分かる名称を記載して下さい。なお、本項目を含めて、「観測活動」の項目においては、データの説明ではなく、データを取得するためにどのような観測活動を行っているかを説明する項目となります。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 46

大構造 ②データセット詳細部 **観測活動**

見出し 観測活動の説明

説明

観測活動の内容について、理解しやすい表現で説明して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

項目 No.18データセットの説明との違いは、本項目がデータを取得するための観測活動の説明を記載する項目という点ですが、スマートホームデータカタログとしては、類似する文章が記載されることもあり得ると想定しています。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 47

大構造 ②データセット詳細部 **観測活動**

見出し 観測活動の関連文書

説明

観測活動に関連する文書について、文書名称とWeb 空間上の場所を示す URL を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

既に行っているサービス提供の結果としてデータ取得を行っている場合は、そのサービスの概要等が分かる文書の URL を記載して下さい。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 48

大構造 ②データセット詳細部 **観測活動**

見出し 観測活動の期間

説明

観測対象に対して、観測、作動、サンプリングを行った結果の時間、期間あるいは、瞬間時刻、あるいは複合的な時間を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

項目 No.27データセットの対象期間は年月日を示す項目ですが、本項目はさらに細分化した時間帯やインターバルを記載してください。データ利用者側は、時間帯によって提供するサービスを変えると想定されるため、有用な情報となりえます。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 49

大構造 ②データセット詳細部 **観測活動**

見出し 観測活動の場所

説明

観測活動の場所、地名、あるいは地点座標を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

データセットがカバーしている地域は、項目 No.26データセットの対象地域での記載となりますので、本項目では観測活動の分解能(個宅単位等)を記載して下さい。

公共の場で、個人情報等が特定できないかつ、施設管理者の同意が得られる場合は、具体的な地名を記載することも可能な項目です。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 50

大構造 ②データセット詳細部 センサ

見出し センサの識別子

説明

センサのユニークな識別子を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

センサの製品品番等を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 51

大構造 ②データセット詳細部 **センサ**

見出し センサの名称

説明

センサの名称、型式などを記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

センサ製品の名称等を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 自由記述 ~~・~~ 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 実施 ~~・~~ 未実施

項目No. 52

大構造 ②データセット詳細部 センサ

見出し センサの説明

説明

センサの特徴や性能等について、理解しやすい表現で説明して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

項目 No.50と No.51で記載したセンサの特徴や性能(どのようなデータをどの程度の頻度で出力するか等)を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 53

大構造 ②データセット詳細部 センサ

見出し センサの関連文書

説明

製品のカタログや仕様書など関連する文書について、文書名称と Web 空間上の場所を示す URL を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

センサの特徴や性能(取得できるデータの内容・頻度・形式等)が記載されたカタログや仕様書の URL を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 54

大構造 ②データセット詳細部 **観測対象**

見出し 観測対象の識別子

説明

観測対象のユニークな識別子を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測対象がIDで一意に特定できる場合には、ユニークな識別子を記入して下さい。但し、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 55

大構造 ②データセット詳細部 **観測対象**

見出し 観測対象の名称

説明

観測対象の名称を文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測対象の特徴が分かるような名称を簡潔に記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 56

大構造 ②データセット詳細部 **観測対象**

見出し 観測対象の説明

説明

観測対象について、理解しやすい表現で説明して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測対象の詳細な説明を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 57

大構造 ②データセット詳細部 **観測対象**

見出し 観測対象の関連文書

説明

観測対象に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測対象に関連する文書について、文書名称(学术论文や技術報告書等)やWeb空間上の場所を示すURL等を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 58

大構造 ②データセット詳細部 **観測特性**

見出し 観測特性の識別子

説明

観測特性のユニークな識別子を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

観測特性が ID 等で一意に特定できる場合には、ユニークな識別子を記入して下さい。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 自由記述 ~~・~~ 選択記述

入力例

—

カタログサイトにて対応 実施 ~~・~~ 未実施

項目No. 59

大構造 ②データセット詳細部 **観測特性**

見出し 観測特性の名称

説明

観測特性の名称を文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測特性とは、観測対象における観測可能な質、特性、特徴等を示すものです。観測特性の特徴が分かるような名称を簡潔に記載する項目ですが、但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 60

大構造 ②データセット詳細部 **観測特性**

見出し 観測特性の説明

説明

観測特性の意味について、理解しやすい表現で説明して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測特性の詳細な説明事項を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 61

大構造 ②データセット詳細部 **観測特性**

見出し 観測特性の関連文書

説明

観測特性に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測特性に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

項目No. 62

大構造 ②データセット詳細部 **観測特性**

見出し 観測特性の単位

説明

観測特性の単位を記載して下さい。

区分 ~~必須項目~~・~~オプション項目~~

解説

観測特性の単位を記載する項目ですが、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、データ詳細部の記載の必要はありません。

入力ルール

JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。

入力形式 ~~自由記述~~・~~選択記述~~

入力例

—

カタログサイトにて対応 ~~実施~~・~~未実施~~

3. データセット利用条件部

項目No. 63

大構造 ③データセット利用条件部 **契約ポリシー**

見出し 契約形態

説明

このデータセットの契約形態を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供型契約については、データの譲渡、データのライセンス(利用許諾)、データの共同利用(相互利用許諾)の3つの類型として整理することができる。

譲渡)データの譲渡とは、一般的に、データの利用をコントロールできる地位を含む当該データに関する一切の権限を譲受人に移転させ、譲渡人は当該データに関する一切の権限を失う趣旨であると考えられる。

利用許諾)データのライセンス(利用許諾)においては、データ提供者が保持するデータの利用権限を一定の範囲でライセンサーに与えるが、ライセンサーは提供データに関する全ての利用権限を失うものではない。

共同利用)データの共同利用(相互利用許諾)とは、契約当事者が二者(例えば、甲と乙)の場合であれば、甲が保持するデータについて契約によってその利用権限の全部又は一部を乙に与え、他方、乙が保持するデータについて契約によってその利用権限の全部又は一部を甲に与えることをいう。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P24～26

入力ルール

以下の選択肢から選択して下さい。(択一選択)

譲渡/利用許諾/共同利用/個別相談

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・譲渡/利用許諾/共同利用/個別相談

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 64

大構造 ③データセット利用条件部 **契約ポリシー**

見出し 秘密保持義務

説明

データの購入者に、秘密保持義務を含む、契約の締結や規約への同意を求めるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

提供データに含まれる営業秘密、ノウハウの流出を防ぐためには、データ受領者に対して秘密保持義務を課すことが重要である。本項目では、秘密保持義務を含め、データ提供にあたり、当事者間で、何らかの契約の締結や規約への同意等を求めるか否かを明示します。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P18 等

入力ルール

以下の選択肢から選択して下さい。(択一選択)

・求める ・求めない

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・求める ・求めない

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 65

大構造 ③データセット利用条件部 **契約ポリシー**

見出し 利用用途

説明

どの用途であれば、利用を認めるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データの利用目的を定め、その利用目的の範囲外の利用を制限するという条件です。利用目的の設定は、データ創出に関するビジネスモデル全体に関わるものであり、利用の促進とデータを秘匿する必要性の両面から評価をすることが望ましいものです。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P55 等

入力ルール

以下の選択肢から選択又は自由記述をして下さい。

商用利用／研究利用／教育利用／制限なし／個別調整／その他の自由記述

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・商用利用／研究利用／教育利用／制限なし／個別調整／その他の自由記述

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 66

大構造 ③データセット利用条件部 利用条件

見出し 利用状況の把握

説明

データの利用者に対して、提供前の審査や、利用状況の報告、システムによる管理・監視等を求めるかを記載して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データ受領者による提供データの漏えいや目的外利用のおそれ等がある場合に、データ提供者が速やかにデータ受領者の提供データの利用状況を確認することができるようにしておくことが望ましい。本項目は上記を如何に担保するかを明示するものです。

事前審査あり: データ提供者がデータ受領者を事前に審査を行う。

データにアクセスする人員の誓約書あり: データ提供者がデータ受領者の担当者等から誓約書をとる。

利用状況の報告あり: データ受領者がデータ提供者に利用状況の報告を行う。

システムによる管理・監視あり: データ提供者のシステムによりデータ受領者が利用状況を監視される。

オンサイト利用: データ受領者がデータ提供者に出向いてデータの利用を行う。

その他: データ提供者とデータ受領者が個別に定める事項。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P112 等

入力ルール

以下の選択肢から選択して下さい。(複数選択可)

事前審査あり/データにアクセスする人員の誓約書あり/利用状況の報告あり/

システムによる管理・監視あり/オンサイト利用/求めない/その他

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

事前審査あり/データにアクセスする人員の誓約書あり/利用状況の報告あり/

システムによる管理・監視あり/オンサイト利用/求めない/その他

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 67

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し 利用範囲

説明

データ提供者に前もって知らせなくても、データ利用者がデータを利用してよい範囲を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者から提供されるデータに関し、データ利用者がどのような範囲でデータを利用できるかは、合意なく当然に定まるものではなく、データ提供者とデータ利用者との間の契約等により規定しておくことが望ましいです。本項目はデータの利用範囲を規定する項目です。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P82 等

入力ルール

以下の選択肢から選択又は自由記述をして下さい。

担当者限り／自部門／自社／グループ会社／個別相談／制限なし／その他(自由記述)

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

担当者限り／自部門／自社／グループ会社／個別相談／制限なし／その他(自由記述)

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 68

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し 第三者への開示要件

説明

提供データの第三者への開示を許容する場合に、データ利用者とは異なる条件を、第三者に対して求める場合には、当該開示要件を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者より提供されたデータ及び派生データの第三者への譲渡もしくは利用許諾又は第三者との共同利用に関しては、データ利用者自身による利用と異なり、相手方当事者から反対の意向を示されることも少なくないので、事前に明確に合意しておくことが望ましいです。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P30 等

入力ルール

データ利用者とは異なる条件を、第三者に対して求める場合には、当該条件(場所や施設等が特定できる情報は削除する、など)を自由に記載する、もしくは、条件の記載された URL を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・観測対象情報は除くこと
- ・統計情報として処理すること
- ・データの第三者開示にあたっては、個別に相談を行うこと

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 69

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し データ購入者の制限

説明

データ購入者の制限はあるかどうかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

提供データに自社の営業秘密やノウハウ等が含まれている場合、データの提供によってデータに対するコントロールを喪失することに伴い、これらの営業秘密やノウハウが社外に流出してしまう、ないし、不正利用され得るといった懸念をもつ関係者は多い。それゆえ、データの保護は原則として利害関係者間の契約を通じて図られることになるため、契約等により制限を行います。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P18 等

入力ルール

データ購入者の制限について求めるものがある場合には、自由に記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・転売を業とする事業者の購入は禁止
- ・特記すべき制限は無し

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 70

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し データ活用地域

説明

データの活用地域に制限がある場合、利用可能な国や地域を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者からの提供データ及び派生データについて、オンライン上での利用や、海外での利用の可能性もあり、後々紛争の原因になりかねないため、データを利用可能な地域を定め、明示しておくことが望ましいです。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P60 等

入力ルール

データの活用地域に制限がある場合、データを活用可能な国や地域(米国、EU など)を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・日本、EU
- ・日本国内に限定

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 71

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し 注意事項

説明

データを利用するにあたって、注意すべき事項があれば記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

提供データについて、当事者間による契約等で利用条件を定めていくこととなりますが、特に当事者間で合意をしておくことが望ましい条件等があれば、当該注意事項を本項目に記載します。

入力ルール

データの利用に関する注意事項を自由に記載して下さい。

例:学術的な目的での利用に供するデータであるので、営利目的では利用しないで下さい

例:ダウンロード回数に制限があります(1ヶ月あたり10回まで)

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・取得したデータを再配布や販売は禁止する。
- ・ダウンロード回数に制限があります(1ヶ月あたり10回まで)

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 72

大構造 ③データセット利用条件部 **利用条件**

見出し 派生データの利用権

説明

派生データの利用権は、誰にあると考えているかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

派生データとは、データ提供者から提供されたデータを加工、分析、編集、統合等を行うことによって新たに生じたデータを意味します。当該派生データ等の利用をデータ提供者に対しても認めるか否か、利用権限の範囲、及びその利用の際の対価の有無等を契約等により、定めておくことが望ましいです。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P 28 等

入力ルール

以下の選択肢より選択して下さい。(択一選択)

データ提供者/データ利用者/データ提供者/データ利用者/その他の利害関係者/個別相談

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・データ提供者/データ利用者/データ提供者/データ利用者/その他の利害関係者/個別相談

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 73

大構造 ③データセット利用条件部 **データ保護要件**

見出し パーソナルデータの種別

説明

提供するデータセット内にパーソナルデータが含まれる場合、パーソナルデータの類別を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

「パーソナルデータ」は現行法上の定義はないものの、「個人の属性情報、移動・行動・購買履歴、ウェアラブル機器から収集された個人情報を含み、「特定の個人を識別できないように加工された人流情報、商品情報等も含まれる」とされています。

本項目は、データセット内のパーソナルデータの類別を記載します。対象のデータ内に、個人情報が含まれる場合には、個人情報保護法を遵守し適正にデータを取り扱う必要があります。

なお、データ流通においては、改正個人情報保護法において、データの利用促進の観点から導入された、「匿名加工情報」の制度が広く利用される可能性があります。「匿名加工情報」とは、個人情報保護法 2 条 9 項で定義されており、特定の個人を識別することができないように個人情報を加工して、その個人情報を復元することができないようにしたものをいいます。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P16 等

入力ルール 以下の選択肢より選択して下さい。(択一選択)

個人情報(要配慮個人情報を含む)/個人情報(要配慮個人情報を含まない)/匿名加工情報/
非識別加工情報/非個人情報

入力形式 自由記述 ・ **選択記述**

入力例

・個人情報(要配慮個人情報を含む)/個人情報(要配慮個人情報を含まない)/匿名加工
情報/非識別加工情報/非個人情報

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 74

大構造 ③データセット利用条件部 **データ保護要件**

見出し データ利用者に求める資格

説明

セキュリティやプライバシー保護のために、データの利用者に求める資格や、規格への準拠を求めることがあるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

本項目では、セキュリティやプライバシー情報の保全のために、データ利用者側に適切な対策や保護措置等を求めるか否か、必要な資格等を明示する場合に記載します。

入カルール

データの利用者に、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得、CBPR(APEC 越境プライバシールール)認証取得、P マーク等のプライバシー保護に関する資格取得等への準拠を求める場合は、該当する資格や規格等の名称や URL 等を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・P マークを取得していること

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 75

大構造 ③データセット利用条件部 **データ保護要件**

見出し データの管理

説明

データの利用者に対して、提供データの管理方法について求めるものがあるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者は、データ利用者が提供データの管理が契約等に沿って、適切に行われているかどうかを外部から知ることはできないため、データ提供者より、データ利用者に対して、提供データの管理方法等について要求するものです。データ利用者による提供データの管理状況からして、提供データの漏えい又は喪失のおそれがあるとデータ提供者が判断した際には、データの管理方法等の是正を求めることも想定されます。

入カルール

データの利用者に、他のデータと区別して管理・保管させる、インターネットへの接続禁止、毎回利用の度にデータを削除等、提供データの管理方法について求めるものがある場合には、自由に記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・取得したデータは、契約対象者しかアクセスできない場所に保管すること

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 76

大構造 ③データセット利用条件部 **利用期間**

見出し データの有効期間

説明

提供されるデータセットに明確な有効期限がある場合は、開始日と終了日を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

提供されるデータセットについて、利用可能な期間について契約上明らかにしておかなかった場合、契約の有効期間が存続する限り、データの利用は可能であると判断される可能性があるため、データを利用可能な期間を定めておくことが大切です。

入力ルール

データが有効な期間を示す開始日時と完了日時を記載して下さい。

形式 開始年月日 / 終了年月日

例 1 開始日のみ : 2016/04/01-

例 2 開始終了の期間 : 2016/04/01-2016/07/01

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・2019/04/01-2019/09/30

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 77

大構造 ③データセット利用条件部 **利用期間**

見出し 利用ライセンスの期限

説明

データの利用者が、データを利用できる期間を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ契約の有効期間及びライセンスの期間を示すものです。但し、契約の有効期間満了までに契約終了の申し出がないときは、本契約と同一の条件でさらに契約を継続する旨の規定を定めることは妨げません。

入力ルール

データを利用できる期間を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・6ヶ月
- ・1年以降自動継続とする。

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 78

大構造 ③データセット利用条件部 **価格・支払い**

見出し 支払類型

説明

データ利用者に、データ提供の対価として、どの類型による支払を求めるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供の対価の金額あるいはその算定方法として、①従量課金の場合、②固定料金の場合、③売上げの配分の場合が代表例として挙げられます。これらの方式に関しては、単純に優劣がつけられるものではなく、個別の状況に応じた選択をする必要があります。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P108 等

入力ルール

固定料金、従量課金、売上配分、無償等、自由に記述して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・固定料金 / 従量課金 / 売上配分 / 無償 又は 自由記述

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目 No. 79

大構造 ③データセット利用条件部 **価格・支払い**

見出し 課金単位

説明

データの購入者に、どのような単位で課金を求めるか記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供の算定方法については、項目 No.78 支払類型にて示しましたが、対価算定の基礎となる課金単位を契約で定めておくことが望ましい。特に、継続的にデータセットが提供されることが予定されている契約の場合、単位数に応じて提供データの対価を決める方式が簡便です。単位数としては、データの数量、データの容量、アカウント数、ソフトウェアのライセンスの数、API のコール数等があります。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P108 等

入力ルール

データの購入者に、どのような形で課金を求めるか、記載して下さい。
(データ数あたり、利用者数あたり、API コールあたり、利用期間あたり等)

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・固定料金の場合：・1 ライセンスあたり
- ・従量課金の場合：・1 ファイルあたり ・API コールあたり

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 80

大構造 ③データセット利用条件部 価格・支払い

見出し 価格帯

説明

このデータセットを販売できる価格帯を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ オプション項目

解説

データ提供の対価の金額の価格帯を記載する項目です。

入力ルール

下記のように選択して下さい。

有償 無償 個別相談

有償の場合 ~100 円、~1,000 円、~10,000 円、~100,000 円、~1,000,000 円、
1,000,001 円~

入力形式 自由記述 ・ 選択記述

入力例

- ・ 有償、0-100(円)

カタログサイトにて対応 実施 ・ 未実施

項目No. 81

大構造 ③データセット利用条件部 **価格・支払い**

見出し データ販売に関わる特記事項

説明

このデータセットの販売に関わる特記事項を記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

データ提供における対価金額や支払い方式、その他特別割引等、特記事項を記載する項目です。各企業のビジネス戦略に関わる項目であり、JEITA スマートホームデータカタログ上はオプション項目に設定しています。

入力ルール

このデータセットの販売に関わる特記事項を記載して下さい。
(例えば、初回 30 日間無料、長期契約にて優待価格で提供等)

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・初回 30 日間無料

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 82

大構造 ③データセット利用条件部 **価格・支払い**

見出し 支払条件

説明

データ購入者が支払いを行う条件を記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供の対価については、項目 No.80 価格帯にて示しましたが、本項目では、対価の支払条件を示します。例えば、固定料金の場合については、提供データの利用許諾に対する対価として、毎月月末までに月額●円を指定する銀行口座に振込送金の方法によって支払うものとする等の条項が想定されます。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P109 等

入力ルール

支払い条件を自由記述で記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・利用月の翌月末払い
- ・利用期間終了後の翌月末払い
- ・購入時に一括
- ・個別相談

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

項目No. 83

大構造 ③データセット利用条件部 **保証**

見出し 保証

説明

データ利用者に対して、保証できることがあれば記載して下さい。

区分 必須項目 ・ **オプション項目**

解説

対象データ及び派生データが、他の経済的活動に使用されるようになると、データの誤りやデータが継続的に創出されないことによって損害が生じることがあり得る。そのため、データの質や内容、データの継続的な創出について、データ提供者における保証内容や、当事者間での責任関係を明らかにしておくことが望ましい。

但し、各企業のビジネス戦略に関わる項目であるため、JEITA スマートホームデータカタログ上はオプション項目にしています。

参考 AI・データの利用に関する契約ガイドライン P95 等

入力ルール

データ利用者に対して、保証できることがあれば自由に記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

- ・ データ主体となる個人の本人同意が得られている
- ・ 測定機器が公的検定をうけている
- ・ 第三者のデータベース著作物を提供するに際しライセンスをクリアしている

カタログサイトにて対応 実施 ・ **未実施**

項目No. 84

大構造 ③データセット利用条件部 **保証**

見出し 準拠法の対象国

説明

データ利用者に、どの国・地域の法律に準拠することを求めるかを記載して下さい。

区分 **必須項目** ・ オプション項目

解説

データ提供者／データ利用者間の契約に適用される法律及び裁判管轄を合意するため、準拠法の対象国について予め合意しておくことが望ましい。

入力ルール

準拠法の対象国・地域を記載して下さい。

入力形式 **自由記述** ・ 選択記述

入力例

・日本国

カタログサイトにて対応 **実施** ・ **未実施**

Ⅲ 付 録

JEITA スマートホームデータカタログ項目定義書V1.0

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
①データカタログ本体部					
	①	カタログ	<p><説明> データカタログ本体部を定義します。データカタログ本体部は、カタログ、カタログレコード、データセット部、配信から構成します。</p>		
1	①	カタログID	<p><説明> このカタログをユニークに識別するための管理IDです。</p> <p><入力ルール> カタログの作成者が、ユニークになるような規則（例えば、URIなど）を決め、発行することを推奨します。 なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトに登録する際は、システムにて自動的にカタログIDを付与します。</p>	必須項目	ID 4213
2	①	カタログのタイトル	<p><説明> このカタログの名称です。</p> <p><入力ルール> 登録しようとしているデータをひと言（50字程度）で言い表すタイトルを記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・健康データマーケットカタログ ・エアコン稼働状況データカタログ
3	①	カタログの説明	<p><説明> このカタログの内容の説明です。</p> <p><入力ルール> このカタログに、収録されているデータセットの内容を踏まえて、データの特徴を第三者に理解してもらうための説明を記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・インターネット経由で取得する健康測定データ（血圧／体重／骨密度）を年代別のデータとしてまとめたもの ・オフィスビルにおいてIoT接続されたエアコンの稼働状況及び管理制御データをリアルタイムで配信するもの
4	①	カタログの発行日	<p><説明> このカタログを発行した日付です。</p> <p><入力ルール> このカタログを発行した日付を記載して下さい。データセットの発行日や配信の開始日は、別に記入欄があります。 なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトに登録する際は、システムにて自動的に日付を付与しますので、カタログ登録者が入力する必要はありません。</p>	必須項目	2019/3/1
5	①	カタログの最終更新日	<p><説明> このカタログを最後に更新・修正した日付です。</p> <p><入力ルール> このカタログを最後に更新・修正した日付を記載して下さい。 なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、カタログ記載項目に更新があった際は、システムにて自動的に更新日付を付与しますので、カタログ登録者が入力する必要はありません。</p>	必須項目	2019/3/1
6	①	カタログ作成に用いた言語	<p><説明> このカタログがどの言語で記述されているかを示す情報です。</p> <p><入力ルール> JEITAスマートホームデータカタログサイトの対応言語は、日本語／英語のデータカタログとなりますので、「日本語」／「英語」のどちらかを選択して下さい。なお、カタログ上の表記は選択に合わせ、ISO 639-1ベースの言語コードである「ja」／「en」へ自動的に変換されます。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ja ・en
7	①	カタログ記載のホームページ	<p><説明> このカタログのホームページのURLです。</p> <p><入力ルール> このカタログのホームページのURLを記載して下さい。 なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは自動的にURLを付与しますので、カタログ登録者が入力する必要はありません。</p>	必須項目	https://jeita/catalog/4213/
8	①	カタログの提供者	<p><説明> このカタログを提供する組織・機関の名称です。</p> <p><入力ルール> このカタログを提供する組織・機関の名称を記載して下さい。</p>	必須項目	〇〇株式会社 データサービス事業部
9	①	カタログの対象地域	<p><説明> このカタログの対象地域です。</p> <p><入力ルール> このカタログの対象地域を記載して下さい。 なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは対象地域を「日本国内」と固定で設定します。</p>	必須項目	日本国内
10	①	カタログの分類テーマ	<p><説明> このカタログが扱うテーマです。</p> <p><入力ルール> カタログとしてどのようなデータを扱うか、カタログの扱うテーマを記載して下さい。なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、分類テーマを「スマートホーム」と固定で設定します。</p>	必須項目	スマートホーム

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
11	①	カタログのライセンス	<p><説明> このカタログに適用されるライセンスへのリンクです(このカタログに含まれるデータセットに適用されるライセンスではありません)。 このカタログに適用されるライセンスが、このカタログに含まれるデータセットや配信に適用される場合においても、データセットや配信毎のライセンス項目で記載する必要があります。</p> <p><入力ルール> データセット自体ではなく、項目No.12データカタログ利用規約を遵守の上で、一つの著作物であるデータカタログ自体に適用されるライセンスを示す項目となります。JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、データカタログを登録する際には、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス(CCライセンス)の表示-改変禁止のライセンス設定を条件としており、本CCライセンスが自動的に設定されます。</p>	必須項目	表示 - 改変禁止 4.0 国際 (CC BY-ND 4.0)
12	①	カタログの利用規約	<p><説明> このカタログの利用規約です。</p> <p><入力ルール> データセット自体ではなく、一つの著作物であるデータカタログ自体に適用される利用規約を規定する項目となります。本項目は、項目No.11で定めたライセンスを付与するための前提条件となります。なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、統一の利用規約を定めているため、本項目は自動的に利用規約を記載したHPのアドレスが記載されます。</p>	必須項目	別途作成
	①	カタログレコード	<p><説明> スマートホームデータカタログにデータセット部を登録した場合、登録日付等をレコードとしてまとめることができます。但し、JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、カタログレコードの記載の必要はありません。</p>		
13	①	カタログレコードの名称	<p><説明> このカタログのレコードの名称です。</p> <p><入力ルール> JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。</p>	JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません	
14	①	カタログレコードの説明	<p><説明> このレコードの内容の説明です。</p> <p><入力ルール> JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。</p>	JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません	
15	①	カタログレコードの作成日	<p><説明> このレコードを作成した日付です。</p> <p><入力ルール> JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。</p>	JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません	
16	①	カタログレコードの更新/修正日	<p><説明> このレコードを更新・修正した日付です。</p> <p><入力ルール> JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません。</p>	JEITA スマートホームデータカタログサイトでは、記載の必要はありません	
	①	データセット部	<p><説明> この記入欄には、個々のデータセットについての説明を記載して下さい。データカタログの配下には、複数のデータセット部を登録できます。どのデータセット部にも複数の配信/利用条件部の設定が可能です。なお、「データセット」は実際に提供される「データそのもの」のことを指し、「データセット部」は当該データセットの「メタデータ」を指します。</p>		
17	①	データセットのタイトル	<p><説明> データセットの名称です。</p> <p><入力ルール> 登録しようとしているデータセットをひと言(50文字程度)で言い表すタイトルを記載して下さい。例えば、「〇月〇日の血圧測定情報」といった時系列でデータセットを纏めることや、「〇〇地域のエアコン稼働状況」といった形で地域毎にデータセットを纏めることも可能です。検索の結果に反映されるため、なるべく簡潔に表現をすることが重要です。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ ABC 血圧測定_20180401 ・ 2017年度エアコンのセンサ出力信号
18	①	データセットの説明	<p><説明> このデータセットの内容の説明です。</p> <p><入力ルール> タイトルだけでは表せない、データセットの特徴を第三者に理解してもらうための説明を記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・ある特定地域の40歳代から70歳代を含むグループで、毎日朝晩に血圧計を使って測定したデータを一月単位にまとめて配信。 ・日本国内の各地方毎にエアコンから10分毎に収集した動作状態、運転モード設定、温度設定値、室内相対湿度計測値、室内温度計測値、外気温度計測値、風量設定のデータリストを提供する。
19	①	データセットの発行日	<p><説明> このデータセットの発行日です。</p> <p><入力ルール> このデータセットが発行された日を記載して下さい。</p>	必須項目	・2019/04/01

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
20	①	データセットの更新/修正日	<p><説明> このデータセットを最後に更新・修正した日付です。</p> <p><入力ルール> このデータセットを修正、更新した場合は、その日付を記載して下さい。ここでいう修正、更新とは、データセット内の軽微な変更や誤りの訂正などを指します。</p>	必須項目	・2019/04/02
21	①	データセットに含まれる言語	<p><説明> 実際に取得できるこのデータセットがどの言語で記述されているかを示す情報です。</p> <p><入力ルール> JEITAスマートホームデータカタログサイトが対応するのは、日本語/英語のデータカタログとなりますので、「日本語」/「英語」のどちらかを選択してください。なお、カタログ上の表記は選択に合わせ、ISO 639-1ベースの言語コードである「ja」/「en」へ自動的に変換されます。</p>	必須項目	・ja ・en
22	①	データセットの提供者	<p><説明> このデータセットを提供した組織・機関の名称です。</p> <p><入力ルール> このデータセットを提供した組織・機関の名称を記載して下さい。データセットへの問い合わせ先は項目No.30データセットの窓口に記載します。</p>	必須項目	・〇〇株式会社 データサービス事業部
23	①	データセットの作成者	<p><説明> このデータセットの作成に関わった組織・機関の名称です。</p> <p><入力ルール> このデータセットの作成に関わった組織・機関名を記載して下さい。データセットへの問い合わせ先は項目No.30データセットの窓口に記載します。</p>	必須項目	・〇〇株式会社 データサービス事業部
24	①	データセットの提供頻度	<p><説明> データセット部内のデータセットが提供される頻度です。</p> <p><説明> データセット部内のデータセットが提供されるペースを記載して下さい。定期的に提供する場合、年・月・週・日あたり何回なのかを記載してください。常に更新されるデータセットであれば、時間・分・秒・マイクロ秒あたり何回のデータ配信が行われるかを記載して下さい。不定期の場合は、不定期としてください。また、APIでデータセットを随時提供する場合には、APIで随時提供と記載して下さい。</p>	必須項目	・月に一度更新データセットを提供 ・リアルタイム or 1秒あたり1回更新 ・APIで随時提供
25	①	データセットのURI	<p><説明> このデータセット部をユニークにするための識別子です。</p> <p><入力ルール> カタログの作成者が、ユニークになるような規則（例えば、URIなど）を決め、発行することを推奨します。なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトにおいては、URIとしてカタログ登録時に自動的にURLを付与し、本項目に反映します。</p>	必須項目	https://jeita/catalog/4213/
26	①	データセットの対象地域	<p><説明> このデータセットの対象地域です。</p> <p><入力ルール> このデータセットの対象地域を記載して下さい。</p>	オプション項目	・日本国内 ・日本国内 〇〇県 〇〇市
27	①	データセットの対象期間	<p><説明> このデータセット部内に収録されているデータセットが対象とする期間です。</p> <p><入力ルール> このデータセット部内に収録されているデータセットは、いつからいつまでの情報を年月日で記載して下さい。未来に渡って継続してデータを収集・配信する場合、終了年月日は省略することができます。 入力形式 開始年月日-終了年月日：YYYY/MM/DD-YYYY/MM/DD 入力形式 開始年月日 YYYY/MM/DD</p>	必須項目	・2019/04/01-2019/05/30 ・2019/04/01-
28	①	データセットの分類テーマ	<p><説明> このデータセットの扱うテーマです。</p> <p><入力ルール> このデータセットがどのようなデータを扱うか、最も近いと想定されるデータセットのテーマを以下から選択して下さい。 エネルギー管理/快適生活支援/モバイルサービス/機器メンテナンス セキュリティ/ヘルスケア/IoT家電/創エネ・蓄エネ/住宅設備</p>	必須項目	エネルギー管理/快適生活支援/モバイルサービス/機器メンテナンス セキュリティ/ヘルスケア/IoT家電/創エネ・蓄エネ/住宅設備
29	①	データセットのキーワード	<p><説明> このデータセットのキーワードです。検索のためのタグとしても用いられます。</p> <p><入力ルール> このデータセットに関連するキーワードを記載して下さい。</p>	必須項目	・血圧測定、最高血圧、最低血圧、脈拍 ・40代、50代、60代、70代 ・運転モード設定/温度設定値/室内相対湿度計測値/室内温度計測値/外気温度計測値/風量設定等、分類テーマに基づいたデータセット部内のデータセットの属性等を記載し
30	①	データセットの窓口	<p><説明> このデータセットについて、問い合わせを行う際の連絡先です。</p> <p><入力ルール> データセットの連絡先情報を記載して下さい。</p>	必須項目	〇〇株式会社 データサービス事業部 カスタマサポート部 12-3456-7890 x x x x x x @ x x . x x

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
31	①	データセットの説明ページURL	<p><説明> このデータセットに関する説明ページのURLです。</p> <p><入力ルール> このデータセットに関して、追加・補足できる情報が公開されている場合は、そのページのリンク名、URLを記載して下さい。</p>	オプション項目	<p>・スマートホームデータカタログ説明ページ</p> <p>https://www.jeita.or.jp/japanese/pickup/category/190314.html</p>
32	①	データセットの観測対象種別	<p><説明> データセットの観測対象が人かモノか空間かの区別を記載する項目です。</p> <p><入力ルール> 観測対象が人かモノか空間かの種類を記載して下さい。</p>	オプション項目	・人/モノ/空間
33	①	データセットの観測対象特定	<p><説明> 観測対象の特定の有無を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 人・モノ・空間を識別可能なID・URI等がデータセット中に含まれているかどうかを記述します。無い場合には「無し」と記載して下さい。記載にあたっては、個人等が特定可能な具体的なID/番号等を記入しないようにご留意下さい。</p>	オプション項目	<p>・一意に識別可能な番号(例えば、マイナンバー)が含まれる</p> <p>※具体的なID/番号等を記入しないようにご留意下さい。</p>
34	①	観測プラットフォームの名称	<p><説明> 観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)の名称を簡潔に記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データセットを観測している、主に機器に関する情報について、ECHONET機器オブジェクトにて規定されている機器項目から選択、又は、自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	<p>・電子レンジ</p> <p>・家庭用エアコン</p>
35	①	観測プラットフォームの説明	<p><説明> 観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)の仕様や意味について、理解しやすい表現で説明して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	<p>・家庭用エアコン) 本エアコンには、温度センサ、湿度センサ、人感センサ等が搭載されている。部屋内の温度・湿度を観測するとともに、人感センサにより、部屋内の在不在情報も観測することができる。</p>
36	①	観測プラットフォームの関連文書	<p><説明> 観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> テキスト記述の文書名と文書のURL等を記載して下さい。</p>	オプション項目	<p>家庭用エアコン ○○シリーズ製品カタログ、 https://www.ooo.co.jp/aircon/</p>
37	①	準拠規格/参照先	<p><説明> 観測プラットフォーム(データセットを観測している機器)やデータセットが準拠している標準化規格等を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 観測プラットフォームが準拠している既存の標準化規格等の名称・参照先を記載して下さい。 例:「ECHONET Lite」や「Continua Design Guidelines」等</p>	オプション項目	<p>・ECHONET Lite, https://echonet.jp/</p>
	①	配信	<p><説明> 登録しようとしているデータセットが、どの配信形式で入手できるかを記載して下さい。配信形式には、例えば、CSVファイルやAPI、RSSフィードなどが挙げられます。</p>		
38	①	データセットの配信形式の名称	<p><説明> データセットの配信形式の名称です。</p> <p><入力ルール> データセットの配信形式を説明するために、配信方法やファイル名等を名称として記載して下さい。</p>	オプション項目	<p>・月次 エアコン測定情報 JSONファイル配信</p>
39	①	配信形式の説明	<p><説明> データセットの配信形式に関わる説明です。</p> <p><入力ルール> データセットの配信形式を第三者に理解してもらうための説明を記載して下さい。</p>	必須項目	<p>・1週間単位の情報を翌週まとめてJSON形式で配信</p> <p>・データを即時にプッシュ配信(フォーマットテンプレートは下記参照)</p> <p>https://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/distribution_archives/format_template</p>
40	①	配信開始日	<p><説明> この配信形式でデータセットの提供を始めた日付です。</p> <p><入力方法> この配信形式でデータセットの提供を始めた日付を記載して下さい。 入力形式:YYYY/MM/DD</p>	オプション項目	2019/4/1
41	①	配信形式の最終変更日	<p><説明> この配信を最後に更新した日付です。</p> <p><入力ルール> この配信を最後に更新した日付を記載して下さい。なお、JEITAスマートホームデータカタログサイトでは、配信部記載項目に更新があった際はシステムにて自動的に更新日付を付与しますので、カタログ登録者が入力する必要はありません。</p>	オプション項目	2019/4/2
42	①	データセット配信を受けるためのライセンス	<p><説明> このデータセットの配信を受けるために従うべき利用条件です。</p> <p><入力ルール> このデータセットの利用条件や、利用条件が記されたライセンスドキュメントのリンク名、URLを記載して下さい。</p>	必須項目	<p>データライセンス規程 http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataLicence/</p>

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
43	①	データセット配信の利用規約	<p><説明> このデータセットの利用規約です。</p> <p><入力ルール> このデータセット配信を受けるための利用規約を定めたリンク名、URLを記載して下さい。</p>	必須項目	データ利用規約 http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataTermsAndConditions/
44	①	データセットを配信するアクセスURL	<p><説明> データセットを取得できるWebページのURLです。例えば、データセット配信に対してアクセス権を与えるランディングページや、フィード、SPARQLエンドポイント等を記します。</p> <p><入力ルール> そのデータセットを取得できるWebページのリンク名、URLを記載して下さい。</p>	必須項目	〇〇社 データカタログサイト http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/DataTermsAndConditions/
②データセット詳細部					
	②	データセット詳細	データ詳細部のエンリポイントとなる抽象クラスです。		
	②	観測活動	<p><説明> 観測の対象の特性の値を推定あるいは計算する手続きを実行する行為を記載して下さい。</p>		
45	②	観測活動の名称	<p><説明> 観測活動の名称を、文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・40代から70代を対象とした生活空間での血圧測定 ・〇〇地方のエアコンの動作状態
46	②	観測活動の説明	<p><説明> 観測活動の内容について、理解しやすい表現で説明して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・家庭生活をしている40代から70代の特定集団が血圧を測定する。 ・〇〇地方のエアコンの動作状態、運転モード設定、温度設定値、室内相対湿度計測値、室内温度計測値、外気温度計測値、風量設定データを10分毎に測定する。
47	②	観測活動の関連文書	<p><説明> 観測活動に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 観測活動について、テキストで記載されている文書名と文書のURLを記載して下さい。</p>	オプション項目	〇〇サービスの概要、 http://ABC-Data.com/HC/dataservice/datacatalog/HC-0123456789/dataset/observation/document
48	②	観測活動の期間	<p><説明> 観測対象に対して、観測、作動、サンプリングを行った結果の時間、期間あるいは、瞬間時刻、あるいは複合的な時間を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> テキストによる自由形式で記載して下さい。</p>	オプション項目	・2019/3/1 ~ 2019/3/31 朝計測4:00 - 10:00、夜計測19:00 - 2:00 ・2019/04/01 ~ 2019/04/30 Interval=10min
49	②	観測活動の場所	<p><説明> 観測活動の場所、地名、あるいは地点座標を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 観測活動の分解能について、場所や範囲の特定ができない程度にテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・測定対象者の居住場所 ・観測対象エアコンの所在地(〇〇線〇〇駅)
	②	センサ	<p><説明> 観測の処理に関係する、あるいは処理を実装したデバイス、ヒト含むエージェント、あるいはソフトウェアについて記載して下さい。センサは、環境の状態や変化を計測します。例えば、加速度計、ジャイロスコープ、パロメータなどは、プラットフォームとしてのスマホに搭載されたセンサです。また、人の目もセンサに含まれます。</p>		
50	②	センサの識別子	<p><説明> センサのユニークな識別子を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> URL、guidなどテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・品番◆◆
51	②	センサの名称	<p><説明> センサの名称、型式などを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・血圧測定用圧力センサ ・家庭用エアコン向け温度センサ
52	②	センサの説明	<p><説明> センサの特徴や性能等について、理解しやすい表現で説明して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・朝と夜に測定した血圧を個別に管理し、最高血圧、最低血圧、脈拍のデータセットとして出力します。 ・Econetlite EPG準拠/運転モード設定/温度設定値/室内相対湿度計測値/室内温度計測値/外気温度計測値/風量設定 出力頻度 10分
53	②	センサの関連文書	<p><説明> 製品のカタログや仕様書など関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> テキスト記述の文書名と文書のURLを記載して下さい。</p>	オプション項目	・製品仕様書 https://echonet.jp/wp/wpcontent/uploads/pdf/General/Standard/Echonet/Version_3_21/SpecVer341_ap_b.pdf
	②	観測対象	<p><説明> 観測により推定されたり計算される特性を持つモノについて記載して下さい。例えば、樹木の高さの測定をするときは、高さは、観測特性であり、樹木は、観測対象となります。</p>		

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
54	②	観測対象の識別子	<p><説明> 観測対象のユニークな識別子を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> URI、guidなどテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	http://example.com/[guid] ※本観測対象を識別するための一意な識別子をつける。
55	②	観測対象の名称	<p><説明> 観測対象の名称を文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・血圧記録サービスの利用者の1グループ ・室内環境データ
56	②	観測対象の説明	<p><説明> 観測対象について、理解しやすい表現で説明して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・血圧記録サービスの利用者で、家庭生活をしている40代から70代のグループ。 ・〇〇地方に設置されたエアコンの動作状態、運転モード設定、温度設定値、室内相対湿度計測値、室内温度計測値、外気温度計測値、風量設定のデータ
57	②	観測対象の関連文書	<p><説明> 観測対象に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> テキスト記述の文書名と文書のURLを記載して下さい。</p>	オプション項目	A社技術論文 http://example.com/dataset/observation/document-2
	②	観測特性	<p><説明> 観測対象における観測可能な質、特性、特徴について、記載して下さい。樹木の高さ、水域の深さ、地表の温度などは、観測特性です。一方、クラシックカーの価値は、観測可能ではなく値付けです。</p>		
58	②	観測特性の識別子	<p><説明> 観測特性のユニークな識別子を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> URI、guidなどテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	http://example.com/[guid] ※本観測対象を識別するための一意な識別子をつける。
59	②	観測特性の名称	<p><説明> 観測特性の名称を文字列や整数値などのリテラルで、簡潔に記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・最高血圧 ・運転モード設定値／温度設定値／室内相対湿度計測値／室内温度計測値／外気温度計測値／風量設定値
60	②	観測特性の説明	<p><説明> 観測特性の意味について、理解しやすい表現で説明して下さい。</p> <p><入力ルール> 自由形式のテキストで記載して下さい。</p>	オプション項目	・左心室から大動脈弁を出した直後の大動脈内圧である。 ・家庭用エアコンによる温湿度調整状況
61	②	観測特性の関連文書	<p><説明> 観測特性に関連する文書について、文書名称とWeb空間上の場所を示すURLを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> テキスト記述の文書名と文書のURLを記載して下さい。</p>	オプション項目	・気温、湿度 https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/yougo_hp/kioin.html
62	②	観測特性の単位	<p><説明> 観測特性の単位を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 観測特性の単位をテキストで記載して下さい。参照する定義とURLがあれば記載して下さい。</p>	オプション項目	・[運転モード]自動/冷房/除湿/送風/その他 [Temperature] °C [Moisture] % [風量設定] レベル1-8/自動
③データセット利用条件部					
③	データセット利用	データセット利用条件部のエントリーポイントとなるクラスです。			
③	契約ポリシー	データ販売を行うにあたって、どのような契約ポリシーを持っているかを記載して下さい。			
63	③	契約形態	<p><説明> このデータセットの契約形態を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢から選択して下さい。(択一選択)</p>	必須項目	・譲渡/利用許諾/共同利用/個別相談
64	③	秘密保持義務	<p><説明> データの購入者に、秘密保持義務を含む、契約の締結や規約への同意を求めるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢から選択して下さい。(択一選択)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・求める ・求めない 	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・求める ・求めない
65	③	利用用途	<p><説明> どの用途であれば、利用を認めるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢から選択又は自由記述をして下さい。 商用利用／研究利用／教育利用／制限なし／個別調整／その他(自由記述)</p>	必須項目	・商用利用／研究利用／教育利用／制限なし／個別調整／その他の自由記述
③	利用条件	データの利用条件や開示範囲、派生データの利用権など、販売しようとしているデータの利用条件を記載して下さい。			

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
66	③	利用状況の把握	<p><説明> データの利用者に対して、提供前の審査や、利用状況の報告、システムによる管理・監視等を求めるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢から選択して下さい。(複数選択可) 事前審査あり/データにアクセスする人員の誓約書あり/利用状況の報告あり/システムによる管理・監視あり/オンサイト利用/求めない/その他</p>	必須項目	事前審査あり/データにアクセスする人員の誓約書あり/利用状況の報告あり/システムによる管理・監視あり/オンサイト利用/求めない/その他
67	③	利用範囲	<p><説明> データ提供者に前もって知らせなくても、データ利用者がデータを利用してよい範囲を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢から選択又は自由記述をして下さい。 担当者限り/自部門/自社/グループ会社/個別相談/制限なし/その他(自由記述)</p>	必須項目	担当者限り/自部門/自社/グループ会社/個別相談/制限なし/その他(自由記述)
68	③	第三者への開示要件	<p><説明> 提供データの第三者への開示を許容する場合には、データ利用者とは異なる条件を、第三者に対して求める場合には、当該開示要件を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データ利用者とは異なる条件を、第三者に対して求める場合には、当該条件(場所や施設等が特定できる情報は削除する、など)を自由に記載する、もしくは、条件の記載されたURLを記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・観測対象情報は除くこと ・統計情報として処理すること ・データの第三者開示にあたっては、個別に相談を行うこと
69	③	データ購入者の制限	<p><説明> データ購入者の制限はあるかどうかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データ購入者の制限について求めるものがある場合には、自由に記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・転売を業とする事業者の購入は禁止 ・特記すべき制限は無し
70	③	データ活用地域	<p><説明> データの活用地域に制限がある場合、利用可能な国や地域を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データの活用地域に制限がある場合、データを活用可能な国や地域(米国、EUなど)を記載して下さい。</p>	必須項目	<ul style="list-style-type: none"> ・日本、EU ・日本国内に限定
71	③	注意事項	<p><説明> データを利用するにあたって、注意すべき事項があれば記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データの利用に関する注意事項を自由に記載して下さい。 例:学術的な目的での利用に供するデータであるので、営利目的では利用しないで下さい。 例:ダウンロード回数に制限があります。(1ヶ月あたり10回まで)</p>	オプション項目	<ul style="list-style-type: none"> ・取得したデータを再配布や販売は禁止する。 ・ダウンロード回数に制限があります(1ヶ月あたり10回まで)
72	③	派生データの利用権	<p><説明> 派生データの利用権は、誰にあると考えているかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢より選択して下さい。(択一選択) データ提供者/データ利用者とデータ提供者/データ利用者/その他の利害関係者/個別相談</p>	必須項目	データ提供者/データ利用者とデータ提供者/データ利用者/その他の利害関係者/個別相談
	③	データ保護要件	提供するデータの性質(パーソナルデータの類別)や、当該データの保護のために、データの利用者に求める資格や、管理方法、等の要件について記載して下さい。		
73	③	パーソナルデータの類別	<p><説明> 提供するデータセット内にパーソナルデータが含まれる場合、パーソナルデータの類別を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 以下の選択肢より選択して下さい。(択一選択) 個人情報(要配慮個人情報を含む)/個人情報(要配慮個人情報を含まない)/匿名加工情報/非識別加工情報/非個人情報</p>	必須項目	個人情報(要配慮個人情報を含む)/個人情報(要配慮個人情報を含まない)/匿名加工情報/非識別加工情報/非個人情報
74	③	データ利用者に求める資格	<p><説明> セキュリティやプライバシー保護のために、データの利用者に求める資格や、規格への準拠を求めることがあるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データの利用者に、ISMS(情報セキュリティマネジメントシステム)認証取得、CBPR(APEC越境プライバシールール)認証取得、Pマーク等のプライバシー保護に関する資格取得等への準拠を求める場合は、該当する資格や規格等の名称やURLなどを記載して下さい。</p>	必須項目	・Pマークを取得していること
75	③	データの管理	<p><説明> データの利用者に対して、提供データの管理方法について求めるものがあるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データの利用者に、他のデータと区別して管理・保管させる、インターネットへの接続禁止、毎回利用の度にデータを削除等、提供データの管理方法について求めるものがある場合には、自由に記載して下さい。</p>	必須項目	・取得したデータは、契約対象者しかアクセスできない場所に保管すること。
③		利用期間	データの利用期限、有効期限を記載して下さい。		

項目No	大構造	見出し	説明	区分	入力例
76	③	データの有効期間	<p><説明> 提供されるデータセットに明確な有効期限がある場合は、開始日と終了日を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データが有効な期間を示す開始日時と完了日時を記載して下さい。</p> <p>形式 開始年月日 / 終了年月日 例1 開始日のみ : 2016/04/01- 例2 開始終了の期間 : 2016/04/01-2016/07/01</p>	オプション項目	・2019/04/01-2019/09/30
77	③	利用ライセンスの期限	<p><説明> データの利用者が、データを利用できる期間を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データを利用できる期間を記載して下さい。</p>	必須項目	・6ヶ月 ・1年 以降自動継続とする。
	③	価格・支払い	データセットの販売価格や支払い方法について記載して下さい。		
78	③	支払類型	<p><説明> データ利用者に、データ提供の対価として、どの類型による支払を求めらるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 固定料金、従量課金、売上配分、無償等、自由に記述して下さい。</p>	必須項目	・固定料金 / 従量課金 / 売上配分 / 無償 又は 自由記述
79	③	課金単位	<p><説明> データの購入者に、どのような単位で課金を求めるか記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データの購入者に、どのような形で課金を求めるか、記載して下さい。(データ数あたり、利用者数あたり、APIコールあたり、利用期間あたり等)</p>	必須項目	固定料金の場合: ・1ライセンスあたり 従量課金の場合: ・1ファイルあたり ・APIコールあたり
80	③	価格帯	<p><説明> このデータセットを販売できる価格帯を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 下記のように選択して下さい。 ○有償 ○無償 ○個別相談 ○有償の場合 ~100円、~1,000円、~10,000円、~100,000円、~1,000,000円 1,000,001円~</p>	必須項目	・有償、0-100(円)
81	③	データ販売に関する特記事項	<p><説明> このデータセットの販売に関する特記事項を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> このデータセットの販売に関する特記事項を記載して下さい。(例えば、初回30日間無料、長期契約にて優待価格で提供等)</p>	オプション項目	・初回30日間無料
82	③	支払条件	<p><説明> データ購入者が支払いを行う条件を記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 支払い条件を自由記述で記載して下さい。</p>	必須項目	・利用月の翌月末払い ・利用期間終了後の翌月末払い ・購入時に一括 ・個別相談
	③	保証	データ提供者として保証できることや、準拠法の対象国について記載して下さい。		
83	③	保証	<p><説明> データ利用者に対して、保証できることがあれば記載して下さい。</p> <p><入力ルール> データ利用者に対して、保証できることがあれば自由に記載して下さい。</p>	オプション項目	・データ主体となる個人の本人同意が得られている。 ・測定機器が公的検定をうけている。 ・第三者のデータベース著作物を提供するに際しライセンスをクリアしている。
84	③	準拠法の対象国	<p><説明> データ利用者に、どの国・地域の法律に準拠することを求めるかを記載して下さい。</p> <p><入力ルール> 準拠法の対象国・地域を記載して下さい。</p>	必須項目	・日本国

禁無断転載

**スマートホームデータカタログ
作成の手引き
第 1.0 版**

2020 年 10 月 20 日

発 行 一般社団法人 電子情報技術産業協会
〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-1-3
TEL:03-6268-0003 FAX:03-5218-1078